

【三重県新型コロナ克服 生産性向上・業態転換補助金】

対象となる取組の事例

生産性向上のためのデジタルトランスフォーメーション（DX）の導入

- ・BCP強化計画の一環としてリモートワーク環境を整備し、オフィス機能の分散と生産性の向上を推進する。
- ・生産ラインの遠隔管理システムの導入により、密回避と省力化を図る。

省力化・作業効率化・生産能力の増強等により生産性向上を推進する取組

- ・生産能力の高い加工機器を導入することで、時間当たりの製造量を増強する。
- ・効率的な導線に変更するために、小売店で陳列棚等のレイアウト組み換えを行う。

需要が見込める分野にシフトして収益の柱を作る事業再構築

- ・オフィスへの弁当配達メインであったが、テレワークの普及で需要が激減したため、個人向けの店頭販売を事業の中心に切り替える。
- ・食品販売を副業で実施していた宿泊施設が、旅行需要の減少に対応するために、商品ラインナップを増やして食品販売中心に事業を再構築する。

新商品・新サービスの開発、新事業の立ち上げ

- ・樹脂製自動車部品製造業者が、既存の生産ラインを活用して感染症防止用アクリル製品を生産する。
- ・スポーツジムが、個人の自宅用にオンライントレーニングサービスを新たに実施する。

新たな需要が見込める既存商品のブランド力強化

- ・在宅時間が増え、健康増進への意識が高まったことにより売り上げが急増したプロテイン飲料の販促を強化し、更なる需要拡大を狙う。
- ・飲食店での需要が急速に高まってきた一人用土鍋に、デザインやネーミングを変更して改良を加え、BtoCにも対応できるようにする。

新たな顧客層の掘り起こしにつなげるための取組

- ・テレワークの普及に伴い、自宅で料理をする男性が増えたことに対応し、調理器具メーカーが「男の料理」を前面に押し出した商品ラインナップを揃える。
- ・ネット通販サイトを改良し、不慣れな高齢者にも利用しやすいようにして顧客層の拡大を図る。

サプライチェーンの強靱化のための部素材の内製化、製造工程の再構築

- ・設備がないため、製造工程のうち溶接のみ外注していたが、新たに溶接器具を購入し、一貫して自社製造できるようにする。
- ・複数の工場に分散していた製造工程を一か所に集約し、生産効率の向上を図る。